

“うなぎの生態”と“人間の移動”を重ねあわせる SPAC の新作パフォーマンス 『うなぎの回遊 Eel Migration』

2026 年 2 月 28 日、3 月 1 日 浜松科学館にてワーク・イン・プログレス公演！

プレス関係各位

平素より、SPAC-静岡県舞台芸術センターに格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

SPAC-静岡県舞台芸術センターでは、劇作家・石神夏希がブラジルにルーツを持つ静岡県民とともに創作する新作パフォーマンス『うなぎの回遊 Eel Migration』のワーク・イン・プログレス公演を、2026年2月28日(土)・3月1日(日)、浜松市科学館みらいーらにて上演します。

本作は、産卵のため何千キロも離れた海へと旅をするうなぎの生態と、様々な事情で海を超え移動をくり返す人間というモチーフを重ね合わせ、寓話的なフィクションを立ち上げるパフォーマンス作品です。台本・演出を手がけるのは、地域の住民と創作する作品で大きな成果をあげてきた石神夏希（「SPAC秋のシーズン2025-2026」アーティスティック・ディレクター）。静岡県内、特に浜松市に多く暮らすブラジルにルーツを持つ10代から50代の4名の県民出演者を迎え、SPACの俳優4名とともに2025年2月からクリエーションとリサーチを行い、2026年4月の初演に向け、2月末浜松にて創作過程を一般公開します。

【ワーク・イン・プログレス公演】

日時：2026 年 2 月 28 日（土）、3 月 1 日（日）＊各日開演 13:30 【全席自由席】

上演時間 60 分(予定) 〈上演言語：日本語（一部ポルトガル語）〉

会場：浜松科学館みらいーら ホール（静岡県浜松市中央区北寺島町 256 番地の 3）



▶1月18日(日)午後、出演者 8 名が浜松科学館みらいーらの「サイエンスショー」に出演！

同日、科学未来館内で稽古も行っています。ぜひご取材ください。

『うなぎの回遊 Eel Migration』

わたしたちは間違える、わたしたちは何度でも繰り返す

うなぎたちは間違えない、うなぎたちは何度でも繰り返す

うなぎは産卵のため、はるか何千キロもはなれた海まで命をつなぐ旅に出る。

海の向こうから来たあなた。静岡の街で生きるブラジルにルーツを持つ人々の営みと声。

主要キャストに静岡県内に多く暮らすブラジルにルーツを持つ地域住民を迎え、

俳優とともに 1 年以上にわたる対話や共同作業を通じて創作される

劇作家・石神夏希と SPAC の新作パフォーマンス。（詳細は 2P をご覧ください）



静岡県舞台芸術センターでのオープン・スタジオの様子
photo by Ryuichiro Suzuki

台本・演出：石神夏希 音楽：棚川寛子

舞台美術デザイン：佐々木文美 音響デザイン：和田匡史

出演：赤松直美、貴島豪、森山冬子、良見亮（以上 SPAC）

アイラ・ウェンディ、相川アンジェラ

ペレイラ・ハセヤマ・クレイデ、矢野陽規（以上県民参加者）

◎演出家プロフィール

石神夏希（いしがみ・なつき） 劇作家。国内外で都市やコミュニティのオルタナティブなふるまいを上演する演劇やアートプロジェクトを手がける。ディレクションの仕事として「東アジア文化都市 2019 豊島」舞台芸術部門事業ディレクター、ADAM Artist Lab 2019（台北）ゲストキュレーター、静岡市まちは劇場『きょうの演劇』企画・ディレクター（2021 年度）他。SPAC では 2022 年『弱法師』（作：三島由紀夫）、2023 年『お艶の恋』（原作：谷崎潤一郎『お艶殺し』）、「ふじのくに」せかい演劇祭 2024 にて間食付きツアーパフォーマンス『かちかち山の台所』を作・演出。「SPAC 秋のシーズン 2025-2026」アーティスティック・ディレクター。



photo by 牧田奈津美(F4.5)

■浜松に多く暮らすブラジルにルーツを持つ県民とのクリエイション

ブラジル系コミュニティは日本にとって長い歴史を持つ特別な存在で、静岡県、特に浜松市は全国でもブラジルからの移住者の多い街として知られています。そのコミュニティは地域社会に根を張る一方、依然として分断や格差といった課題も抱えています。今回のクリエイションでは、ブラジルにルーツを持つ出演者本人やその家族に「静岡での生活」「移住の経緯や前後の出来事」「言語・教育・文化の違い」「仕事・家族の歴史」など、多様な人生史についてリサーチとインタビューを重ねてきました。そこから、これまで公に語られてこなかった個々人の声を作品の核として台本を作成し、地域社会における“多文化共生の実景”を舞台へと立ち上げます。

*出演者の募集には、在浜松ブラジル領事館、県西部地域の国際交流協会、地元コミュニティ、市民団体など多くの地域組織に広報協力をいただきました。

■海を越え移動を続けるうなぎをモチーフに『移動と生殖』を人間に問いかける。

本作のもうひとつの軸となる“うなぎ”は、静岡県西部・浜名湖の特産品であり、近年絶滅危惧種としてワシントン条約締約国会議で輸出入規制の強化に関する議論が続くなど、日本の食文化・産業を巻き込む国際的な課題となっています。長年の謎であったニホンウナギの産卵場所は、2009年に東京大学の研究チームがマリアナ諸島付近で天然の卵を発見し解明されましたが、その生態や生殖の多くは依然として謎に包まれています。

石神と出演メンバー・スタッフは、これまでに水産・海洋技術研究所、浜名湖周辺の養鰻業者、大学研究者へのインタビュー調査、養殖現場や研究施設の見学なども行い、うなぎの生態への知見を深めてきました。マリアナ諸島付近の深海から静岡の川まで約 3000km を旅するという特異な生態や、成長の途中で性が決まる雌雄同体性、神話や伝承にも登場する特別な存在であること、人類とは異なる時間・空間の感覚——こうした“理解しきれない人類の隣人”としてのうなぎの存在が、本作の想像力を大きく支えています。



*クリエイションスケジュール

2024 年 6 月 リサーチ開始

2025 年 2 月 クリエーション開始

2025 年 4 月～5 月 オープン・スタジオ 会場：静岡県舞台芸術公園（プレス関係者への公開）

2026 年 2 月 ワーク・イン・プログレス公演 会場：浜松科学館 みらいーら

2026 年 4 月 静岡にて初演

<<ワーク・イン・プログレス公演 チケット情報>>

● チケット料金 [全席自由] チケット販売中

一般：2,200 円 25 歳以下および学生：600 円 ※身分証または学生証提示

ワーク・イン・プログレス公演 特別企画 ブラジル友だちチケット 1,800 円

ブラジルにルーツがある人はもちろん、ブラジルにご縁がある人は、こちらの割引チケットをご利用ください！

ブラジルのフェスに行ったことがある、友だちにブラジル人がいる、カポエイラをやったことがある、サンバが好き…などなど、どんなつながりでも OK です。

ご来場当日は、あなたとブラジルのつながりをボードに書いてシェアしてください♪チケット購入の際は、「ブラジル友だちチケット」を選んでください。

●チケット購入方法

SPAC チケットセンター TEL：054-202-3399 (10:00～18:00、休業日・年末年始を除く)

ウェブ予約 <https://spac.or.jp/ticket>

窓口販売 静岡芸術劇場チケットカウンター (10:00～18:00、休業日・年末年始を除く)

主催：SPAC-静岡県舞台芸術センター ふじのくに芸術祭共催事業

委託：令和 7 年度日本博 2.0 事業 (委託型) (2025 年オープン・スタジオ)

共催：浜松科学館 (ワーク・イン・プログレス公演) 協力：浜松国際交流協会

後援：在浜松ブラジル総領事館、一般社団法人磐田国際交流協会

助成：文化庁文化芸術振興費補助金 (劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

●お問い合わせ：SPAC-静岡県舞台芸術センター TEL.054-203-5730